



組み込みパッケージ キャプチャ コンフィギュレーション ガイド （Cisco IOS XE Gibraltar 16.10.x 向け）

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com go trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

最初にお読みください 1

第 2 章

組み込みパケット キャプチャの概要 3

機能情報の確認 3

組み込みパケット キャプチャの前提条件 4

組み込みパケット キャプチャの制約事項 4

組み込みパケット キャプチャについて 5

組み込みパケット キャプチャの概要 5

組み込みパケット キャプチャの利点 5

パケット データ キャプチャ 5

組み込みパケット キャプチャの実装方法 6

パケット データ キャプチャの管理 6

キャプチャされたデータのモニタリングとメンテナンス 8

組み込みパケット キャプチャの設定例 9

例：パケット データ キャプチャの管理 9

例：キャプチャされたデータのモニタリングとメンテナンス 9

その他の参考資料 11

組み込みパケット キャプチャの機能情報 12



第 1 章

最初にお読みください

Cisco IOS XE 16 に関する重要な情報

現行の Cisco IOS XE Release 3.7.0E (Catalyst スイッチング用) および Cisco IOS XE Release 3.17S (アクセスおよびエッジルーティング用) の2つのリリースは、単一バージョンのコンバインドリリース Cisco IOS XE 16 に進化 (マージ) しました。これにより、スイッチングおよびルーティングポートフォリオにおける広範なアクセス製品およびエッジ製品を1つのリリースでカバーします。

機能情報

機能のサポート、プラットフォームのサポート、およびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、[Cisco Feature Navigator](#) を使用します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

参考資料

- [Cisco IOS Command References, All Releases](#)

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[Cisco Services](#) にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、[Cisco Support](#) にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco Marketplace](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーキング、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。



第 2 章

組み込みパケット キャプチャの概要

組み込みパケットキャプチャ（EPC）は、パケットのトレースとトラブルシューティングに役立つ組み込みシステム管理機能を提供します。この機能を使用すると、ネットワーク管理者は、シスコ デバイスを出入りするか通過するデータ パケットをキャプチャできます。ネットワーク管理者は、キャプチャ バッファ サイズとタイプ（循環または線形）、キャプチャする各パケットの最大バイト数、およびトラフィックフローの方向（入力と出力のどちらか、または両方）を定義する場合があります。パケット キャプチャ レートは、詳細な管理制御を使用してスロットリングできます。たとえば、アクセスコントロールリストを使用してキャプチャ対象パケットをフィルタリングするオプションや、最大パケット キャプチャ レートまたはサンプリング間隔の指定などの詳細な定義を行うオプションが利用できます。

- [機能情報の確認 \(3 ページ\)](#)
- [組み込みパケット キャプチャの前提条件 \(4 ページ\)](#)
- [組み込みパケット キャプチャの制約事項 \(4 ページ\)](#)
- [組み込みパケット キャプチャについて \(5 ページ\)](#)
- [組み込みパケット キャプチャの実装方法 \(6 ページ\)](#)
- [組み込みパケット キャプチャの設定例 \(9 ページ\)](#)
- [その他の参考資料 \(11 ページ\)](#)
- [組み込みパケット キャプチャの機能情報 \(12 ページ\)](#)

機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報および警告については、[Bug Search Tool](#) およびご使用のプラットフォーム、ソフトウェア リリースのリリース ノートを参照してください。このモジュールで説明される機能に関する情報、および各機能がサポートされるリリースの一覧については、機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコ ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、[Cisco Feature Navigator](#) を使用します。[Cisco Feature Navigator](#) にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。[Cisco.com](#) のアカウントは必要ありません。

組み込みパケットキャプチャの前提条件

組み込みパケットキャプチャ（EPC）のソフトウェアサブシステムは、その動作で CPU とメモリ リソースを消費します。さまざまなタイプの操作を行うために十分なシステム リソースを準備する必要があります。システムリソースを使用するためのガイドラインを以下の表に示します。

表 1: EPC サブシステムのシステム要件

システム リソース	要件
ハードウェア	CPU 利用率の要件は、プラットフォームによって異なります。
メモリ	パケットバッファは DRAM に保存されます。パケットバッファのサイズは、ユーザが指定します。
ディスクスペース	パケットは外部のデバイスにエクスポートできます。フラッシュディスクでの中間保管は必要ありません。

組み込みパケットキャプチャの制約事項

- 組み込みパケットキャプチャ（EPC）は、入力のマルチキャストパケットのみをキャプチャし、出力の複製パケットはキャプチャしません。
- Cisco IOS XE リリース 3.7S から、組み込みパケットキャプチャは Advance Enterprise Krypto (K9) イメージでのみサポートされます。
- Cisco IOS XE リリース 3.9S から、組み込みパケットキャプチャは次のイメージで使用できます。
 - IP Base イメージ
 - Special Services イメージ
 - Advance Security イメージ
 - Advance IP Services イメージ
 - Advance Enterprise イメージ

組み込みパケットキャプチャについて

組み込みパケットキャプチャの概要

組み込みパケットキャプチャ（EPC）は、パケットのトレースとトラブルシューティングに役立つ組み込みシステム管理機能を提供します。この機能を使用すると、ネットワーク管理者は、シスコ デバイスを出入りするか通過するデータ パケットをキャプチャできます。ネットワーク管理者は、キャプチャ バッファ サイズとタイプ（循環または線形）、キャプチャする各パケットの最大バイト数、およびトラフィック フローの方向（入力と出力のどちらか、または両方）を定義する場合があります。パケット キャプチャ レートは、詳細な管理制御を使用してスロットリングできます。たとえば、アクセスコントロールリストを使用してキャプチャ対象パケットをフィルタリングするオプションや、最大パケット キャプチャ レートまたはサンプリング間隔の指定などの詳細な定義を行うオプションが利用できます。

組み込みパケットキャプチャの利点

- デバイスで IPv4 および IPv6 パケットをキャプチャする機能。
- パケット キャプチャ ポイントを有効にする拡張可能なインフラストラクチャキャプチャ ポイントは、パケットがキャプチャされ、バッファと関連付けられるトラフィック トランジット ポイントです。
- 外部ツールを使用した分析に適したパケット キャプチャ ファイル（PCAP）形式でパケット キャプチャをエクスポートする機能。
- さまざまな詳細レベルでキャプチャされたデータ パケットをデコードする方法。

パケット データ キャプチャ

パケット データ キャプチャは、バッファに格納されるデータ パケットのキャプチャです。パケット データ キャプチャは、一意の名前とパラメータを入力することによって定義します。

こうしたキャプチャでは、次のアクションを実行できます。

- インターフェイスでのキャプチャのアクティブ化。
- キャプチャ ポイントへのアクセス コントロール リスト（ACL）やクラス マップの適用。



（注） Network Based Application Recognition（NBAR）と MAC スタイルのクラス マップは、サポートされていません。

- キャプチャの破棄。

- サイズやタイプなどのバッファ ストレージ パラメータの指定。サイズの範囲は 1 ~ 100 MB です。デフォルトのバッファは線形です。もう 1 つのバッファ オプションは循環です。
- 次のいずれかの制限オプションの指定。
 - **duration** : キャプチャの合計時間 (秒単位) を制限します。
 - **every** : キャプチャするバケットを n パケットにつき 1 個に制限します。
 - **packet-len** : キャプチャするバケットの長さを制限します。
 - **packets** : キャプチャするパケット数を制限します。
 - **pps** : キャプチャする 1 秒あたりのパケット数を制限します。
- プロトコル、IP アドレス、ポート アドレスに関する情報を含む一致基準の指定。

組み込みパケット キャプチャの実装方法

パケット データ キャプチャの管理

手順の概要

1. **enable**
2. **monitor capture capture-name access-list access-list-name**
3. **monitor capture capture-name limit duration seconds**
4. **monitor capture capture-name interface interface-name both**
5. **monitor capture capture-name buffer circular size bytes**
6. **monitor capture capture-name start**
7. **monitor capture capture-name export file-location/file-name**
8. **monitor capture capture-name stop**
9. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例 : Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します (要求された場合)。
ステップ 2	monitor capture capture-name access-list access-list-name 例 : Device# monitor capture mycap access-list v4acl	アクセス リストをパケット キャプチャのコア フィルタとして指定し、モニタ キャプチャを設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	monitor capture capture-name limit duration seconds 例： Device# monitor capture mycap limit duration 1000	モニタ キャプチャの制限を設定します。
ステップ 4	monitor capture capture-name interface interface-name both 例： Device# monitor capture mycap interface GigabitEthernet 0/0/1 both	接続ポイントおよびパケットフロー方向を指定して、モニタ キャプチャを設定します。 (注) <ul style="list-style-type: none"> • トラフィックの方向を both から in (入力方向) に変更するには、no monitor capture capture-name interface interface-name out コマンドを入力します。 • トラフィックの方向を both から out (出力方向) に変更するには、no monitor capture capture-name interface interface-name in コマンドを入力します。
ステップ 5	monitor capture capture-name buffer circular size bytes 例： Device# monitor capture mycap buffer circular size 10	パケットデータをキャプチャするようにバッファを設定します。
ステップ 6	monitor capture capture-name start 例： Device# monitor capture mycap start	トラフィック トレース ポイントでパケットデータのバッファへのキャプチャを開始します。
ステップ 7	monitor capture capture-name export file-location/file-name 例： Device# monitor capture mycap export tftp://10.1.88.9/mycap.pcap	分析のためにキャプチャされたデータをエクスポートします。
ステップ 8	monitor capture capture-name stop 例： Device# monitor capture mycap stop	トラフィック トレース ポイントでパケットデータのキャプチャを停止します。
ステップ 9	end 例： Device# end	特権 EXEC モードを終了します。

キャプチャされたデータのモニタリングとメンテナンス

キャプチャされたパケットデータのモニタリングとメンテナンスを行うには、次の作業を実行します。キャプチャバッファの詳細とキャプチャポイントの詳細を表示します。

手順の概要

1. **enable**
2. **show monitor capture *capture-buffer-name* buffer dump**
3. **show monitor capture *capture-buffer-name* parameter**
4. **debug epc capture-point**
5. **debug epc provision**
6. **exit**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	show monitor capture <i>capture-buffer-name</i> buffer dump 例： Device# show monitor capture mycap buffer dump	（任意）キャプチャパケットの 16 進数ダンプおよびそのメタデータを表示します。
ステップ 3	show monitor capture <i>capture-buffer-name</i> parameter 例： Device# show monitor capture mycap parameter	（任意）キャプチャを指定するために使用されたコマンドのリストを表示します。
ステップ 4	debug epc capture-point 例： Device# debug epc capture-point	（任意）パケットキャプチャポイントのデバッグを有効にします。
ステップ 5	debug epc provision 例： Device# debug epc provision	（任意）パケットキャプチャプロビジョニングのデバッグを有効にします。
ステップ 6	exit 例： Device# exit	特権 EXEC モードを終了します。

組み込みパケットキャプチャの設定例

例：パケットデータキャプチャの管理

次の例では、パケットデータキャプチャを管理する方法を示します。

```
Device> enable
Device# monitor capture mycap access-list v4acl
Device# monitor capture mycap limit duration 1000
Device# monitor capture mycap interface GigabitEthernet 0/0/1 both
Device# monitor capture mycap buffer circular size 10
Device# monitor capture mycap start
Device# monitor capture mycap export tftp://10.1.88.9/mycap.pcap
Device# monitor capture mycap stop
Device# end
```

例：キャプチャされたデータのモニタリングとメンテナンス

次の例は、ASCII形式でパケットをダンプする方法を示しています。

```
Device# show monitor capture mycap buffer dump

0
0000: 01005E00 00020000 0C07AC1D 080045C0  ..^.....E.
0010: 00300000 00000111 CFDC091D 0002E000  .0.....
0020: 000207C1 07C1001C 802A0000 10030AFA  .....*.....
0030: 1D006369 73636F00 0000091D 0001      ..example.....

1
0000: 01005E00 0002001B 2BF69280 080046C0  ..^.....+.....F.
0010: 00200000 00000102 44170000 0000E000  . .....D.....
0020: 00019404 00001700 E8FF0000 0000      .....

2
0000: 01005E00 0002001B 2BF68680 080045C0  ..^.....+.....E.
0010: 00300000 00000111 CFDB091D 0003E000  .0.....
0020: 000207C1 07C1001C 88B50000 08030A6E  .....n
0030: 1D006369 73636F00 0000091D 0001      ..example.....

3
0000: 01005E00 000A001C 0F2EDC00 080045C0  ..^.....E.
0010: 003C0000 00000258 CE7F091D 0004E000  .<.....X.....
0020: 000A0205 F3000000 00000000 00000000  .....
0030: 00000000 00D10001 00C0100 01000000  .....
0040: 000F0004 00080501 0300      .....
```

次の例は、mycap という名前のキャプチャの設定に使用するコマンドのリストを表示する方法を示しています。

```
Device# show monitor capture mycap parameter

monitor capture mycap interface GigabitEthernet 1/0/1 both
monitor capture mycap match any
```

例：キャプチャされたデータのモニタリングとメンテナンス

```
monitor capture mycap buffer size 10
monitor capture mycap limit pps 1000
```

次の例は、キャプチャポイントをデバッグする方法を示しています。

```
Device# debug epc capture-point
```

```
EPC capture point operations debugging is on
```

```
Device# monitor capture mycap start
```

```
*Jun  4 14:17:15.463: EPC CP: Starting the capture cap1
*Jun  4 14:17:15.463: EPC CP: (brief=3, detailed=4, dump=5) = 0
*Jun  4 14:17:15.463: EPC CP: final check before activation
*Jun  4 14:17:15.463: EPC CP: setting up c3pl infra
*Jun  4 14:17:15.463: EPC CP: Setup c3pl acl-class-policy
*Jun  4 14:17:15.463: EPC CP: Creating a class
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: Creating a class : Successful
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: class-map Created
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: creating policy-name epc_policy_cap1
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: Creating Policy epc_policy_cap1 of type 49 and client
type 21
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: Storing a Policy
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: calling ppm_store_policy with epc_policy
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: Creating Policy : Successful
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: policy-map created
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: creating filter for ANY
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: Adding acl to class : Successful
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: Setup c3pl class to policy
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: Attaching Class to Policy
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: Attaching epc_class_cap1 to epc_policy_cap1
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: Attaching Class to Policy : Successful
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: setting up c3pl qos
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: DBG> Set packet rate limit to 1000
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: creating action for policy_map epc_policy_cap1 class_map
epc_class_cap1
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: DBG> Set packet rate limit to 1000
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: Activating Interface GigabitEthernet1/0/1 direction both
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: Id attached 0
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: inserting into active lists
*Jun  4 14:17:15.464: EPC CP: Id attached 0
*Jun  4 14:17:15.465: EPC CP: inserting into active lists
*Jun  4 14:17:15.465: EPC CP: Activating Vlan
*Jun  4 14:17:15.465: EPC CP: Deleting all temp interfaces
*Jun  4 14:17:15.465: %BUFCAP-6-ENABLE: Capture Point cap1 enabled.
*Jun  4 14:17:15.465: EPC CP: Active Capture 1
```

```
Device# monitor capture mycap1 stop
```

```
*Jun  4 14:17:31.963: EPC CP: Stopping the capture cap1
*Jun  4 14:17:31.963: EPC CP: Warning: unable to unbind capture cap1
*Jun  4 14:17:31.963: EPC CP: Deactivating policy-map
*Jun  4 14:17:31.963: EPC CP: Policy epc_policy_cap1
*Jun  4 14:17:31.964: EPC CP: Deactivating policy-map Successful
*Jun  4 14:17:31.964: EPC CP: removing povision feature
*Jun  4 14:17:31.964: EPC CP: Found action for policy-map epc_policy_cap1 class-map
epc_class_cap1
*Jun  4 14:17:31.964: EPC CP: cleanning up c3pl infra
*Jun  4 14:17:31.964: EPC CP: Removing Class epc_class_cap1 from Policy
*Jun  4 14:17:31.964: EPC CP: Removing Class from epc_policy_cap1
*Jun  4 14:17:31.964: EPC CP: Successfully removed
*Jun  4 14:17:31.964: EPC CP: Removing acl mac from class
*Jun  4 14:17:31.964: EPC CP: Removing acl from class : Successful
*Jun  4 14:17:31.964: EPC CP: Removing all policies
```

```
*Jun 4 14:17:31.964: EPC CP: Removing Policy epc_policy_cap1
*Jun 4 14:17:31.964: EPC CP: Removing Policy : Successful
*Jun 4 14:17:31.964: EPC CP: Removing class epc_class_cap1
*Jun 4 14:17:31.965: EPC CP: Removing class : Successful
*Jun 4 14:17:31.965: %BUFCAP-6-DISABLE: Capture Point cap1 disabled.
*Jun 4 14:17:31.965: EPC CP: Active Capture 0
```

次の例は、組み込みパケットキャプチャ（EPC）のプロビジョニングをデバッグする方法を示しています。

```
Device# debug epc provision
```

```
EPC provisioning debugging is on
```

```
Device# monitor capture mycap start
```

```
*Jun 4 14:17:54.991: EPC PROV: No action found for policy-map epc_policy_cap1 class-map
epc_class_cap1
*Jun 4 14:17:54.991: EPC PROV:
*Jun 4 14:17:54.991: Attempting to install service policy epc_policy_cap1

*Jun 4 14:17:54.992: EPC PROV: Attached service policy to epc idb subblock
*Jun 4 14:17:54.992: EPC PROV: Successful. Create feature object
*Jun 4 14:17:54.992: EPC PROV:
*Jun 4 14:17:54.992: Attempting to install service policy epc_policy_cap1

*Jun 4 14:17:54.992: EPC PROV: Successful. Create feature object
*Jun 4 14:17:54.992: %BUFCAP-6-ENABLE: Capture Point cap1 enabled.
```

```
Device# monitor capture mycap stop
```

```
*Jun 4 14:18:02.503: EPC PROV: Successful. Remove feature object
*Jun 4 14:18:02.504: EPC PROV: Successful. Remove feature object
*Jun 4 14:18:02.504: EPC PROV: Destroyed epc idb subblock
*Jun 4 14:18:02.504: EPC PROV: Found action for policy-map epc_policy_cap1 class-map
epc_class_cap1
*Jun 4 14:18:02.504: EPC PROV: Deleting EPC action
*Jun 4 14:18:02.504: EPC PROV: Successful. CLASS_REMOVE, policy-map epc_policy_cap1,
class epc_class_cap1
*Jun 4 14:18:02.504: %BUFCAP-6-DISABLE: Capture Point cap1 disabled.
```

その他の参考資料

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
Cisco IOS コマンド	Cisco IOS Master Command List, All Releases
組み込みパケットキャプチャ コマンド	Cisco IOS Embedded Packet Capture Command Reference

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのサポートならびにドキュメントの Web サイトではリソースをオンラインで提供しており、マニュアル、ソフトウェア、およびツールをダウンロードできます。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。	http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html

組み込みパケットキャプチャの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースのみを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコ ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 2: *Embedded Packet Capture* の機能情報

機能名	リリース	機能情報
組み込みパケットキャプチャ	Cisco IOS XE リリース 3.7S	<p>組み込みパケットキャプチャ (EPC) は、ネットワーク管理者がデバイスを出入りするかデバイスを通るパケットをキャプチャし、パケットをローカルで分析するか、または Wireshark のようなツールを使用してオフライン分析を行うために、パケットを保存してエクスポートできるようにするオンボードパケットキャプチャファシリティです。この機能は、デバイスをネットワークの管理と操作にアクティブに参加できるようにすることによって、操作を簡略化します。この機能は、パケットの形式に関する情報を収集することによって、よりよいトラブルシューティングを容易にします。また、アプリケーションの分析とセキュリティも容易にします。</p> <p>次のコマンドが導入または変更されました。 debug epc、monitor capture (access list/class map)、monitor capture (interface/control plane)、monitor capture export、monitor capture limit、monitor capture start、monitor capture stop、および show monitor capture。</p>

